

記入例

“運営団体”が設立された「年月日」を入れてください

“子ども食堂応援プロジェクト” 2025年度 助成 申

申請者の概要	団体名	〇〇〇子ども食堂	印
	代表者名・役職名	代表 川崎花子	印
	設立年月日	平成30年4月1日	
	連絡先住所 (財団が郵送する場合の住所)	〒211-0000 川崎市中原区△△△ 1-11-1 <small>※運営団体住所と異なる場合はチェック☑</small>	
助成を希望する活動の概要	連絡先電話番号及び担当者名 (日中連絡が取れる電話番号)	担当：川崎花子	TEL 090-△△△-△△△△
	本活動概要 (資料添付)	子ども食堂の運営を通し、地域の居場所づくりの活動を行っている。	
	食堂名	〇〇〇子ども食堂	
助成を希望する活動の概要	実施場所(住所) <small>※特徴(個人宅・集会所・多目的スペース等)</small>	〒211-0000 川崎市中原区〇〇〇2-1 ※□□□福祉センター 地域交流室	
	①開催時刻(自・至)・頻度(第何曜日・週等)、②年間開催回数、③初回開催年・月・日(予定含む)	①17時～20時 毎月1回(第2火曜日) ②12回 ③平成30年5月8日	
	子ども食堂の活動内容 (具体的に) ①活動目的・開設に至った背景 ②活動内容 ③対象者 ④対象地域 ⑤平均参加人数 (子供、大人内訳人数) ⑥利用料金 ⑦その他 (地域の課題、運営上の課題等)	①親の孤立感の解消や子どもの孤食を防ぐ。子どもが一人でも気軽に来られる居場所とするが、対象は親子に限らず地域住民誰でも参加でき、多世代交流ができる場を目的とする。 ②子ども食堂の開催(食事の提供+レクリエーション) ③地域にお住まいの方 ④主に、中原区〇〇〇中学校校区 町、△△町など ⑤子ども30人、大人20人 計50人 (幼児～小学校低学年の子どもが多い。大人は親子参加者、近隣の高齢者の方が参加。) ⑥子ども(中学生まで)：100円、大人：300円 ⑦地域課題：地域活動で借りられる場所が少ないこと。近隣関係が希薄になり、世代を問わず孤食の課題はあると思われる。 運営課題：ボランティアの確保が難しい。広報等協力先を広げたい。借りている会場の備品(調理器具等)の使いづらさがある。	
	申請理由(運営費・設備費に関しそれぞれ具体的に)	運営費：自費で賄うことが難しい、ボランティアへの交通費、チラシの印刷代等に使用のため。 設備費：大きなお鍋等調理器具、食器をワンプレートに買い揃えたいため。	

印鑑を忘れずに押印ください
(団体印、代表者印いずれか)

代表者宅等、運営団体の住所と異なる場合は☑を入れる

担当者名も入れてください

③初回開催
子ども食堂を始めて開催した「年月日」

各項目ごとに活動概要を記入してください

助成金申請をしたい理由を記入してください
(例. どの費用が足りていないか。どういう内容に助成金を使いたいか。)

社協記入欄	申請理由	
	推薦者 (社協名、住所、会長名：要押印)	
	担当者名	
	電話番号/メールアドレス	

支出項目 →お金を払う	収入項目 →お金が入ってくる		【助成希望額】 支出項目を①運営費、②設備費に 分け、自己資金を引いた足りない金額を いれてください	
	支出項目* *算出根拠(資料・見積等)を添付	金額(予定)	収入項目	金額
年間の全収入・全支出予定項目(財団の助成対象以外もご記入下さい)	食材費	183,000	①運営費	118,280
	広報費	24,000	②設備費	96,000
	交通費	48,000	(助成対象期間: 2022年4月1日~ 2023年3月31日)	
	保険料	23,520		
	備品費	97,020	繰越金	3,260
			参加費	108,000
			寄附金	50,000
計	375,540	計	375,540	

予算書および算出根拠資料と同じ「支出項目名」・「金額」を入れてください

子ども食堂の活動における“令和7年度”の全ての予算額を記入してください
予定でも構いません。

予算書および算出根拠資料と同じ「収入項目名」・「金額」を入れてください

支出合計、収入合計は同額にしてください

(→収入や自己資金・寄付金・その他助成金等を項目毎記載)

子ども食堂運営について(予定含む)	運営メンバーの構成や人数・シフト体制・募集方法等	構成・人数/運営メンバー4名、ボランティア登録13名 合計17名 シフト体制/構成メンバーの内、各回約8名にて運営 募集方法/随時募集中。〇〇〇子ども食堂ホームページに掲載。その他、中原区ボランティアセンターに相談し、チラシの設置・情報誌はホームページ掲載をお願いしている。
	地域との協力体制	□□□福祉センター・中原区社会福祉協議会(ボランティアセンター)・中原区役所・〇〇町内会・△△商店街 他 近所の方より野菜やお米の寄付をいただくこともある。
	利用者への広報の方法(媒体、利用機関・施設、配布・配信方法・範囲、頻度、チラシ等配布物の数量等)	媒体/チラシ、ホームページ 利用期間・施設/□□□福祉センター、中原区社会福祉協議会(ボランティアセンター)、中原区役所等に相談し、チラシ設置等協力いただいている。 〇〇町内会にご協力いただき、掲示板にチラシを掲示してもらっている。 近隣の△△商店街にもチラシの掲示をお願いしている。 配布・配信方法・範囲・頻度/(チラシ)毎月1回、手渡しまたは郵送。中原区内の協力機関をお願いしている。 (ホームページ)メニューは毎月1回、その他レクリエーションや当日の様子等は不定期配信(毎月約3回) 数量/(チラシ)毎月500枚
その他(実践している活動内容等のPR)	□□□福祉センターの広報紙にて紹介記事を掲載いただいた。	

各項目ごとに運営状況を記入してください(記入例参照)

添付資料 算出根拠

作成例

※様式は特にありませんので、団体独自で作成してください

算出根拠について

「申請書」裏面／収入・支出予定（年間）に書かれている金額の根拠が分かる資料を作成してください
 (例) 1回あたりの金額×人数×回数 など

支出項目		金額（予定）	合計
食材費	お米	40,000	183,000
	肉	38,000	
	野菜等	70,000	
	デザート	35,000	
広報費	チラシ500枚、両面カラー 1回2,000円×12回分 (□□□□印刷に発注)	24,000	24,000
交通費	1回500円×8人×12回分	48,000	48,000
保険料	1回28円×70人×12回分	23,520	23,520
備品費	(株) □□□・見積書より 料理鍋 39cm 21,420円×1個=21,420円	21,420	97,020
	(株) ○○○○・見積書より ランチプレート 1,080円×70枚=75,600円	75,600	
支出合計			375,540

申請書および予算書と同じ「項目名」・「金額」を入れてください

令和6年度中に提出される場合は、予定額で作成してください

収入項目（自己資金）		金額（予定）	合計
繰越金	R6 年度からの繰越金 (R6)年度決算書より)	3,260	3,260
参加費	子ども 1回100円×30人×12回	36,000	108,000
	大人 1回300円×20人×12回	72,000	
寄附金	役員ほか寄附金 (R6 年度決算額参考)	50,000	50,000

財団助成希望額		金額
①運営費	食材費 + 広報費 + 交通費 + 保険料 = 278,520円 278,520円 - 自己資金160,240円	118,280
②設備費	備品費97,020円 - 自己資金1,020円	96,000
収入合計		375,540